

# 中抜けの記録について

## 1 「中抜け」は2種類ある？！

あなたの学校の勤務時間管理では、職員が「中抜け」して勤務したときに、どのように取り扱っているでしょうか。中抜けは勤務していないのだから、在校等時間から外す（中抜けした時間を引く）というのはたぶん、多くの先生が了解してくださると思うのですが、

中抜けした時間を、超過となる在校等時間から引く？！

ということについては、一筋縄ではいかないところがあります。

一口に、中抜けといってもよく考えると、実は2種類の中抜けがあります。一つは、授業の合間を使って年休などをとって銀行に行ってくるというような「勤務時間内の中抜け」です。

もう一つは、夕方の5時過ぎなどに、今日の残務は多いのでちょっと外で夕食を食べてから学校に戻って仕事をするといったような、「勤務時間外の中抜け」となります。

この度の勤務時間管理では、「超過となる在校等時間」について月に45時間を超えないように各校での努力が続いています。中抜けを扱う場合には、実は前者の「勤務時間内の中抜け」は、超過となる在校等時間に影響を与えません。なぜなら、勤務時間の中で年休などの正規の手続きを経ているので、定められた勤務時間の両端からオーバーしている時間である「超過となる在校等時間」には影響を与えていないからです。

しかし、「勤務時間外の中抜け」は、勤務時間の両端からオーバーしている「超過となる在校等時間」に影響を与えているので、後者の方は、この「超過となる在校等時間」から、「勤務時間外の中抜け」の時間を引かないと、正しい「超過となる在校等時間」にならないこととなります。

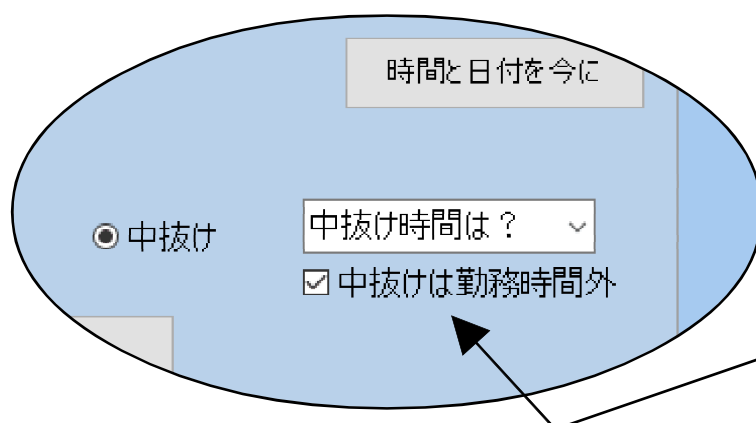
筆者のいる函館ではよく研修会などが開かれ、近隣の市町から先生方が集まってきます。北海道は広いので、その地域の大きなまとまりである渡島管内だけでも、遠いところでは片道2時間以上かけて出席される方もいます。そして、夕方に研修会が終わると、帰路の途中で食事をして、学校や勤務地のある自宅に帰るといったことがあります。こうした研修に伴う移動にかかる時間は「超過となる在校等時間」にあたりますが、途中での食事時間はまさに「勤務時間外の中抜け」にあたるというわけです。

## 2 2つの中抜けが記録できるように機能を拡張

これまでのPunch\_Outには、中抜けは1種類しか記録できない仕様でした。（さらに詳しく言うと、「勤務時間内の中抜け」を記録するように作られていました。）ですから、「勤務時間外の中抜け」があった場合には、便宜的に実際の帰宅時間から中抜け時間を引いて、帰宅時間を早く記録する形で運用し、超過となる在校等時間がずれないように利用していたものと思います。

ようやくこの度のプログラムの改訂で、中抜け時間を勤務時間内と勤務時間外の2種類から選んで記録できるようになりました。

ようやくこの度のプログラムの改訂で、中抜け時間を勤務時間内と勤務時間外の2種類から選んで記録できるようになりました。



手動での「中抜け」の入力。  
チェックボックスで、勤務時間外か勤務時間内かを選択する

### 3 月報での「中抜け」の表示

既に、多くの学校が利用しているPunch\_Outですので、できるだけ使い勝手を変えないで拡張することを念頭に改訂作業に入りました。記録できる時間も、従来の1時間単位から30分単位に少し細かくしました。入力の手間と記録の正確さのバランスを考えて、1分単位の入力ではなく、この形としました。

また、月報についても、「勤務時間内の中抜け」を記録する欄を1種類しか用意していなかったのが、いろいろ悩んだ末に、「勤務時間内の中抜け」を黒字で、「勤務時間外の中抜け」を赤字で表記するように改善しました。

1日の中に、「勤務時間内の中抜け」が2時間、「勤務時間外の中抜け」が1時間30分と両方ある場合には、中抜けの欄に「02:00+01:30」と表記し、黒字で02:00、その後ろに赤字で+01:30と表記して、後から確認できるようにしました。

こうすることにより、これまでの書式を変えることなく、2種類の中抜けを扱うことができる月報が完成しました。

この月報では、2種類の中抜けの時間を減じたものが「実在校等時間」としており、「超過となる在校等時間」の計算では、「時間外の中抜け」だけが減算されるように設計されています。

また、月報の右下の表の月丸ごとの検算では、「勤務時間内の中抜け」時間は休暇等によるので、月の定められた「所定の勤務時間」の総和から、「勤務時間内の中抜け」時間は減算されるようにして、表の縦横の検算に当たる、日毎と月丸ごとの「超過となる在校等時間」の検算を行っています。

AK16	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA	AP
28	21	木		10:00	~				14:45				04:45	00:00										
29	22	金		07:16	~				18:30				11:14	02:44										
30	23	土			~									00:00										
31	24	日			~									00:00										
32	25	月		07:00	~				18:00				11:00	02:30										
33	26	火		07:21	~				18:40			01:00	08:19	00:49										
34	27	水		06:55	~				17:25				10:30	02:00										
35	28	木		07:05	~				18:00			00:30	10:25	01:55										
36	29	金		07:09	~				19:45			02:00+01:30	09:06	02:36										
37	30	土			~									00:00										
38	31	日		16:50	~				20:45				03:55	03:55										
39	出勤日合計								22			5:00	235:30	63:45	注:超過の集計は朝夕									
41	※右下の表の下段の「超過となった在校等時間」は、表の上段-中抜けで求めた値です。日毎に求めた値は上の表です。														中抜けと休憩を減じた在校等時間		219:45							
42	※赤で示されている中抜け時間は、勤務時間外に中抜けした時間ですので、超過となる在校等時間から減算しています。														所定の勤務時間から休憩等を除く		156:00							
43															超過となった在校等時間		63:45							

勤務時間内の中抜けは黒字で、勤務時間外の中抜けは赤字で表記される。

1日に、両方の中抜けが存在する場合は、この例のように、黒字+赤字で表記され、後で確認できるようになっている。